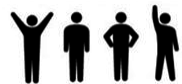




▲ ジモ×ガク HP

通称 ジモ×ガク はこんな取り組み！

江別市内 4 大学



大学生

北翔大学

北海道情報大学

札幌学院大学

酪農学園大学

協議会がマッチング

「ボランティアに参加したい」
「インターンシップに参加したい」

学生地域定着推進
広域連携協議会

「学生の力を借りたい！」

学生が地域活動に参加

8 市町

江別市

南幌町

芦別市

由仁町

赤平市

長沼町

三笠市

栗山町



▲ えべつの魅力発見！地域おこし協力隊
と行く市内探索・取材体験
企業訪問、工場見学、市内探索など



▲ 大麻銀座商店街ブックストリート
大麻銀座商店街を会場に開催する古書
市の運営補助



▲ あそびの会 in ココルク
「あそびの会」が生涯活躍のまちココルク
えべつで開催される際の運営補助

上記のほかにもさまざまな場面で学生が活躍しています

特集

学生が地域に出会う「ジモ×ガク」

詳細

企画課 大学連携担当 ☎ 381-1015

▼ ジモ×ガクとは

江別市には、4つの大学があり、約1万人の学生が在籍しています。

学生地域定着事業「ジモ×ガク」では、市内の大学生が、ボランティア活動や企業訪問などに参加し、多様な立場の方とのコミュニケーションや地域との関わりなどを通して、さまざまな経験を得られるよう支援をしています。近年ではコロナ禍のなかで活動する学生の姿が、地域にも活気を与えています。

▼ 学生に聞くジモ×ガク

ジモ×ガクでは、企業訪問や地域イベントなどの参加を通して学生の地域定着を進めています。今回はジモ×ガクに登録し、活動に参加している4人の大学生に話を聞きました。

【活動に参加した感想は？】

本山 普段の大学生活ではなかなか接点のない地域の方



北海道情報大学

相馬 康人 さん

北翔大学

高谷 春伽 さん

酪農学園大学

本山 爽香 さん

札幌学院大学

東屋 遥希 さん

▼ 企業に聞くジモ×ガク

ジモ×ガクでは、学生に地域の企業を紹介する企画もあります。

昨年9月、学生の企業訪問にご協力いただいた江別製粉㈱の本田さんに、ジモ×ガクについてお話を聞きました。



江別製粉㈱
本田 睦美 さん

【企業訪問を受けて、いかがでしたか？】

新卒採用にあたり、学生さんとの接点をどう作ろうかと考えていたところに、ジモ×ガクとの出会いがあり、「これは活用できる」と思いました。

9月に1～3年生に訪問をしていただいた時には、仕事内容よりも、当社で働く「人」、特に仕事に取り組む姿勢を見てもらうようにしました。工場見学では、迫力ある製造機械の動きを見たり、粉の感触の違いを体感してもらったところ、素直に反応している様子がうかがえ、学生さんの素の姿を見ることができたかなと思いました。学生さんとのコミュニケーションは、当社としても良い刺激になりました。

一般的な会社説明では、学生さんに自分で事務所まで来てもらうことが多いですが、ジモ×ガクでは、事務局が移動をサポートしてくれます。これは、学生さんも企業も負担が減って、お互いにいいことだと思います。

学生さんの募集を事務局に任せられるのも助かります。

【大学生にメッセージをお願いします】

私も市内大学の出身ですが、学生の時は今勤めている会社のことも知りませんでした。ジモ×ガクは、さまざまな地域活動、企業訪問に気軽に参加できるので、江別という「まち」をより深く知るきっかけになります。就職するしないに関わらずもっと地元の企業を見て欲しいと思いますね。



【学生の訪問に協力してくれる企業を募集しています】

市内大学生の地域定着の後押しや地域の企業を知ってもらうことを目的に、市内企業へのインターンシップや企業訪問を実施しています。学生の受け入れにご協力いただける場合は事務局の市役所企画課（☎381-1015）までご連絡ください。

や他の大学の方などと関わることが魅力だと感じています。

ジモ×ガクに参加してから、すごい勢いで人の輪が広がって、さらに地域の魅力も感じるようになりました。

ジモ×ガクで活動した経験のなかで、将来、学生と地域がつながることのできる場所づくりをしたいと思うようになりました。まだ、アイデアの段階ですが、プレーパークという子どもたちが屋外で自由に遊べる場所を江別でつくりたいと考えています。

相馬 僕は今年3年生ですが、1、2年生のときは遠隔授業ばかりで、大学に行けず、ずっ

と家にいるような状態が続きました。江別に住んでいる意味があったのかな、と考える時もありましたが、ジモ×ガクでイベントの手伝いや活動に参加するようになって、大学生生活が楽しくなったと感じています。

もともと、誰かのために何かの活動をするのは全然考えていませんでしたが、誰かのために活動することも悪くないと思うようになりました。

高谷 私も本山さんと同じくさまざまな方と出会えたことが大きな魅力だと思います。

コルクえべつで実施している「あそびの会」に頻繁に参加していて、そこで出会っ

た方々と深いつながりができました。その縁で、出会った方々のところでアルバイトをすることになりました。

東屋 中学校に行って授業の補助をしたり、情報図書館で紙芝居の読み聞かせをする活動の中で、普段関わることのない子どもたちや、さまざまな方と出会えたことが、とてもいい経験になりました。

僕自身、今までは行動する前にできないと決めつけていたことがありましたが、活動を続ける中で、自信につながり経験ができ、もつといういろいろなことに挑戦していきたいとポジティブに考えるようになりました。

「今後、ジモ×ガクでどんなことをやりたい?」

本山 江別が好きなので、市の将来について語り合うワークショップがあれば、ぜひ参加したいですね。

同じ大学生でも目指している分野が違う人と話すのはとても面白いし、刺激になります。

東屋 ジモ×ガクでの活動は、自分自身を見つめる機会にもなっていると感じています。

相馬 僕は江別を盛り上げるというか、たくさんの人に楽しんでもらえるような活動が好きです。例えば、江別駅前をアイスクャンドルで盛り上げる「エキテラ」のような、見に来てくれる人が楽しい気分になれる活動をこれからも続けていきたいです。

高谷 今のジモ×ガクでも企業訪問はありますが、もっといろいろな企業を訪問して江別で活躍する人の話を聞いてみたいです。

進路の視野を広げる意味でもさまざまな業種の現場を見て、大学ではできない経験をしたいです。